

2023年11月28日  
パーソルダイバーズ株式会社

**【講演レポート】**  
**パーソルダイバーズ、「ニューロダイバーシティ」推進による**  
**人材活躍、企業貢献事例を解説**

～日本の人事部「HRカンファレンス 2023 秋」に登壇～

障害者雇用に関わる事業を総合的に展開するパーソルダイバーズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：渡部 広和、以下パーソルダイバーズ）は、2023年11月21日（火）、「日本の人事部 HRカンファレンス 2023 秋」にて、ニューロダイバーシティ推進による人材活躍と企業貢献の事例について講演を行いました。ニューロダイバーシティ推進による人材活躍に取り組む日揮パラレルテクノロジーズ株式会社（以下：日揮パラレルテクノロジーズ）の成川潤氏をゲストに迎え、人材採用や業務創出、社員が力を発揮して活躍するための事例を紹介しました。

**【講演レポート】**

**企業事例を通じて「ニューロダイバーシティの本質」「人材の戦力化」「本業に資すること」を考える**

脳や神経の違いを多様性ととらえ、社会で活かしていく「ニューロダイバーシティ」は、企業における障害者人材の活躍や、ダイバーシティ時代の人材戦略に繋がる重要な概念として注目が高まっています。本講演ではニューロダイバーシティの概念のもと、障害者人材の能力や強みを武器に、本業に資する業務に従事し、雇用義務の達成にとどまらない成果を発揮している企業事例をもとに「ニューロダイバーシティの本質とは何か?」「障害者雇用における人材の戦力化とは何か?」「本業に資する」とはどのようなことか?という論点について考察しました。

はじめに

ニューロダイバーシティの本質とは何か?

障害者雇用“人材の戦力化”とは何か?

“本業に資する”とはどのようなことか?

講演ではニューロダイバーシティ推進による人材活躍に取り組む日揮パラレルテクノロジーズ 代表取締役社長の成川潤氏より、自社の取り組みを紹介いただきました。

主な仕事について「当社では“障害者でもできる仕事”ではなく“障害者であっても求められる仕事”という観点で、健常者と同様に活躍できる領域であるIT分野の業務をグループから受託しています。特にAI/機械学習の事業における環境構築やモデル作成、また、小規模かつ多様なWebアプリケーションの開発に力を入れています」と説明されました。

マネジメントや支援としては「“休みたいのに（給料が減るから）休めない”を解決するための制度は不要で、“こうすれば働ける！”という希望に柔軟に答えていく”考え方をベースに、場所や時間を問わず働けるようにしています。これにより地方ではたらく機会が得られない優秀な人材も採用することができます。また、社員一人ひとりが力を発揮できるよう適度な距離感を保ちつつ、業務において最低限必要となるコミュニケーションや面談等の仕組みを整えています」と説明されました。

最後に、障害者雇用における人材の戦力化への考えとして「手厚いセーフティーネットがあることでリスクのある障害者の採用を避けてしまう構造がこれまでであったが、それを薄くすることで“今働ける人かどうか”を純

<講演資料より>

会社が出来る支援

Parallel X Technologies

みんなバラバラだからこそ力を発揮できる。  
適度な距離感がちょうどよい。

- 人間関係
  - チーム単位の仕事はなく、一人1プロジェクト
  - 固定化している関係が悪化したときに居心地が悪くなるためそもその原因を作らせない
  - 研修や自己研鑽など、業務外でのつながりには積極的
- 報連相
  - 毎日：日報、昼礼、分報(希望者)
  - 毎週：管理人員との個人面談
  - 毎月：ミッション研修/コミュニケーション企画
  - 毎四半期：期待設定/フィードバック面談
  - 毎年：評価昇給面談

<日揮パラレルテクノロジーズ様の取り組み>

粹に評価出来るようになりました。一人ひとりが力を発揮し成果を上げることに主眼を置き、その実現に必要なことを考え、柔軟に対応していくことが大切で、企業が従業員に対して、“あなたに成果を出させる”ということコミットすれば全国から優秀な人材がどんどん集まってきて、それがまた成果につながるという好循環も生まれるでしょう」と語りました。

また今回は、視聴者として参加していた企業担当者からも、自社の取り組みや課題を紹介いただきました。100人いれば100通りの個性や強みがあるという観点から、一人ひとりのできることに着目し、業務マッチングやコミュニケーションの配慮を工夫している事例をお話いただきました。

事例を通じた総括として、大濱より「IT分野での発達障害者の活躍は、企業の本業に資する活躍可能性が見込める領域の一つですが、大切なのは、どの領域・障害種別であれ、“人材一人ひとりの違いや強みを活かす”というニューロダイバーシティの概念をもとに、成果を発揮するうえで何が必要か？どこまでの支援や環境が求められるのか？という問いに向き合うことでしょう。そこには障害者・健常者の区別はありません。今回ご紹介した企業事例から、そのヒントを探っていただきたい」と締めくくりました。

講演に参加した企業担当者からは「目から鱗が落ちるような考え方を知ることができた」「一人ひとりの特性を見て柔軟に対応されている事例が大変参考になった」「自社の精神、発達障害者の雇用課題解決の糸口にした」となどの感想が寄せられました。

### <HRカンファレンス2023秋 パーソルダイバーシティ講演概要>

- 主催：日本の人事部「HRカンファレンス」運営委員会
- 日時：2023年11月21日（火）16:00-16:50
- 場所：オンライン開催
- 参加：法人に所属し、経営者・管理職・拠点長・経営企画・人事・採用・教育・労務・総務など、人・組織・経営の業務に従事している方 71名
- 登壇者：
  - ・講師：パーソルダイバーシティ株式会社  
雇用開発統括本部 雇用開発本部 雇用開発部ゼネラルマネジャー 兼  
人材ソリューション本部 Neuro Diversity事業部 ゼネラルマネジャー 大濱 徹（おおはま あきら）
  - ・ゲスト：日揮パラレルテクノロジーズ株式会社  
代表取締役社長 成川潤（なりかわ じゅん）氏
- 内容：
  - ・ニューロダイバーシティとは何か？
  - ・ニューロダイバーシティ推進企業の実例
  - ・考察「ニューロダイバーシティの本質とは何か」「障害者雇用“人材の戦力化”とは何か？」「“本業に資する”とはどういうことか？」

### 【パーソルダイバーシティのニューロダイバーシティ推進への取り組み】

#### ■発達障害の特性を武器に、先端IT領域での活躍を支援「Neuro Dive」

<https://neuro-diversity.biz/>

パーソルダイバーシティは2019年より、発達障害者の強みや能力を活かしてAI・機械学習やデータサイエンスなどの先端IT領域での就職・活躍を支援する、日本初（※1）の先端IT特化型就労移行支援事業所「Neuro Dive」を運営しています（※2）。先端ITに精通しているテクニカルスタッフと実践的なカリキュラムを通じ、職務上必要となる専門スキルを学ぶことができます。現在、秋葉原、横浜、福岡、大阪、渋谷の5事業所で毎日約100名の方が職業



訓練に励まれているほか、これまでにデータアナリストや機械学習エンジニア、デジタルマーケティングなどの職種へ多くの就職者を輩出しています。

※1 日本初：「先端IT特化型就労移行支援事業所」として、2019年11月「Neuro Dive秋葉原」開所当時、パーソルチャレンジ調べ

※2 就労移行支援：障害者総合支援法に基づく福祉支援サービス。65歳未満の身体、知的、精神障害、難病のある方で、一般企業への就職を希望する方に対し、最長2年間、就職に関する相談や就労に必要なスキルの訓練、就職活動支援、就職後の定着支援が受けられる。

#### ■日本最大級のAIコミュニティ「CDLE」メンバー有志によるニューロダイバーシティ推進を支援

<https://team.expo2025.or.jp/ja/partner/282>

パーソルダイバーズは、日本最大級のAIコミュニティ「CDLE」(Community of Deep Learning Evangelists)のメンバー有志によるニューロダイバーシティ推進プロジェクトを支援しています。全国のCDLE 有志メンバーが各地でチームを組成し、発達障害の持つ強みや能力の活かし方、支援の在り方を研究するプロジェクトに、Neuro Diveの利用者やテクニカルスタッフが参加し、先端技術に関するディスカッションや課題解決アイデアの実装、ハッカソンなどのプログラムに参加するなどの交流を行います。本プロジェクトは、2025年に開催される人阪・関人万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献する「TEAM EXPO 2025」における「共創チャレンジ」として登録されており、パーソルチャレンジは「共創パートナー」として参加・支援しています。

#### ■パーソルダイバーズについて<<https://persol-diverse.co.jp/>>

パーソルグループの特例子会社として、「障害者雇用を成功させる。そして、その先へ。」をミッションに、障害者の多様なはたらき方とはたらく可能性の創出に取り組んでいます。グループ内外の企業や地域と連携した多様な業務受託サービスを展開するほか、国内最大級の求人・登録者数を持つ障害者のための転職・就職支援サービス「dodaチャレンジ」、就労移行支援事業所「ミラトレ」「Neuro Dive」の運営や、企業の雇用課題を支援する「障害者の人材紹介」「障害者雇用コンサルティング」などのサービスを提供しています。

#### ■「PERSOL (パーソル)」について<<https://www.persol-group.co.jp/>>

パーソルグループは、「“はたらくWell-being”創造カンパニー」として、2030年には「人の可能性を広げることで、100万人のより良い“はたらく機会”を創出する」ことを目指しています。

人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」、BPOや設計・開発など、人と組織にかかわる多様な事業を展開するほか、新領域における事業の探索・創造にも取り組み、アセスメントリクルーティングプラットフォーム「マイダス」や、スキマバイトアプリ「シェアフル」などのサービスも提供しています。

はたらく人々の多様なニーズに応え、可能性を広げることで、世界中の誰もが「はたらいて、笑おう。」を実感できる社会を創造します。

#### 本リリースに関するお問い合わせ先

パーソルダイバーズ株式会社 広報担当

MAIL : inquiry@persol.co.jp